

## 論議テーマ 「『環境変化』と働き方の関係を考えよう」

### ファシリテーターに求められること

ファシリテーター（以下「F」という）に特に専門的な知識は必要ありませんが、以下のことに留意して臨みましょう。

- ① 時間を計測しながら、予定時間内に最後までワークが終了するように意識しましょう。
- ② ワークで作業が停滞している参加者がいた場合は、作成例を見してみるなどの案内をしましょう。

### (1) 職場会前の準備

#### ＜配布資料の準備＞

- ガイド「めざす働き方を考えよう」(A4 サイズ両面)
- トレーニング「いろいろな環境変化が自分の働き方にどのように関係するか考えてみよう！」(A4 サイズ片面)
- 10 年後の環境シート(A4 サイズ片面)

#### ＜会場レイアウト＞

- 職場会中、お互いの考えた内容を共有する時間を設ける場合は、4名くらいのグループで話しあえるように島をつくりましょう。スクール形式で行う場合は、ワークの際に隣同士や後ろを向くなどして、3～4名のグループで話しあうようにします。

#### ＜グループ分け＞

- 参加者がお互いを知らない場合は、最初に自己紹介などを行い、話しやすい雰囲気をつくりましょう。
- ファシリテーターの人は基本グループの話しあいに入らず、時間管理や各グループの話しあいを観察するようにします。ただし、少人数の場合は参加者と一緒に話しあうなど人数によって判断してください。

#### ＜参加者が準備する物＞

- 筆記用具を持参するよう案内するか、事前に用意しておきます。

## (2)タイムスケジュール(標準:30分)

| 時間  | 行動                     | 補足                                                  |
|-----|------------------------|-----------------------------------------------------|
| 3分  | ① <F説明>「めざす働き方」を考える必要性 | 職場会のテーマ紹介、「めざす働き方」を考える必要性                           |
| 2分  | ② <F説明>ワークの進め方         | ワークの全体像                                             |
| 14分 | ③ <個人ワーク>一人ひとりで考える     | 事例に沿って、環境変化が自らの働き方にどのような影響があるかを考え、ワークシートに記入するよう指示する |
| 10分 | ④ <グループ>考えたものを共有する     | 一人ひとりが考えたものを、グループで共有しあうよう指示する                       |
| 1分  | ⑤ <F説明>まとめ             | 今後、プロセスを繰り返していくこと、実現に向けて行動していくことを促す。                |

## (3)読み上げ原稿(シナリオ)

### ① <F説明>「めざす働き方」を考える必要性

【ガイド「めざす働き方を考えよう」をもとに説明】

みなさん、こんにちは。これから職場会を始めます。よろしくお願いします。

### なぜ、「めざす働き方」を考えることが重要なのか？

今日のテーマは「『環境変化』と働き方の関係を考えよう」というものです。

これは、私たち一人ひとりが「めざす働き方」を実現していくうえで重要なこととして取り上げています。

そこで、まずは、そもそもなぜ「めざす働き方」を考えることが重要なのか？についてお話ししておきたいと思います。ガイド「めざす働き方を考えよう」1ページの1.をご覧ください。

「仕事」は人生の3分の1を占めるといわれ、私たちの多くは、20歳代から60歳代までの約40年間、何らかの仕事をしながら生活することになります。皆さんも、そのような長い仕事人生を、ただ何となく働くのではなく、「働きがい・やりがい」を感じながら、充実して働きたいと思っているのではないのでしょうか？

そのためには、皆さん自身が「働きがい・やりがい」を感じながら働いている姿、「めざす働き方」を考え、しっかりと認識することで、そこに到達するために自分が必要とする行動などが明確になってくると思います。

とはいえ、実際は「日頃の業務が忙しくて、そこまで考える暇がない」という人が多いのではないのでしょうか。ですが、そのまま日々を過ごしては、いつまでたっても「働きがい・やりがい」を感じながら働く自分に到達することは困難です。まずは「めざす働き方」を考える、そこから始めていくことが大切です。

そして、この「めざす働き方」考えるうえで大事なことが、ここにチェックされている「自分にとっての働く意義や価値観を重視すること」「一人ひとりが、自分のこととして考えること」「環境変化を想定しながら考えることや、環境変化に応じて適宜見直していくこと」です。

私たち一人ひとりが、自らを取り巻くさまざまな環境変化を捉えて「めざす働き方」を考え、その実現に向けて取り組んでいきましょう。

## 「めざす働き方」を自ら考え、実現していくためには？

次に、2. をご覧ください。

先ほど、「めざす働き方」は環境変化を想定しながら考えることが重要だとお話しましたが、今後の新たな環境変化によって、「めざす働き方」やその実現に向けた行動が変化することもあります。

「めざす働き方」を自ら考え、実現していくためには、このイメージ図のとおり、一度考えれば良いのではなく、新たな環境変化を捉えて自らの「めざす働き方」やその実現に向けた行動を都度見直す、これを繰り返していくことが大切です。

今日の職場会では、こうしたプロセスの一部、2. の「将来の環境変化を捉える」の部分になる、将来の環境変化を自ら捉えられるようになるためのトレーニングを実際にやってみることで、皆さんが今後、このプロセスを繰り返していくことにつなげていただければと思います。

### ② <F説明>ワークの進め方

ワークの進め方を説明します。トレーニングシート「いろいろな環境変化が自分の働き方にどのように関係するか考えてみよう！」をご覧ください。

自分の働き方に関する環境変化とは、ワークルールのような、直接的に私たちの働き方にかかわるものだけでなく、一見「関係する」とは思えないような、さまざまな環境変化が、実は私たちの働き方に関係してくる可能性がありますので、好奇心や柔軟性を持って捉えることが重要となります。

このワークでは、実際にいくつかの環境変化の事例から、自分の働き方との関係を考えてみることで、そのことを実感するとともに、「考えること」に慣れていきましょう。

内容は単純で、「将来このような環境変化が起こったら…」という例に対して、それが「自分の働き方にどんな影響がありそうか」というのをいくつか考えてみる。これを複数事例で実施します。

そのうえで、一人ひとりが考えたものをグループで共有しあう時間も設けます。さまざま考え方があることの気づきになればと思います。

それでは、ワークに入っていきます。

### ③ <個人ワーク>一人ひとりで考える

例のところを見てみてください。

例えば、「労働基準法の改正…高度プロフェッショナル制度の導入」であれば、右側に記載のとおり「出勤時間や退社時間自分で柔軟に調整ができるようになり、育児や介護、自己啓発などがしやすくなり、ワークライフバランスの実現につながる」ということも考えられるし、一方で「成果のみで評価される人事制度が導入されて、成果をあげるためにかえって残業時間が増えてしまう」といったことも考えられます。こうした、働き方にダイレクトに関係している環境変化であれば、イメージがしやすいですね。

次の例、「感染症の増加」という環境変化で考えてみましょう。

海外では、鳥インフルエンザのように、新たな感染症が次々と生まれています。そして最近では地球温暖化で日本でも感染症が増えてきているといえます。最近ではデング熱が都内でも広がったなどのニュースもありました。こういったことが、私たちの働き方にも影響することはないでしょうか。右側に記載のとおり、「パンデミックの発生に備えて、在宅勤務の体制整備がいつそうすすむ」かもしれませんし、「通勤の無い働き方が奨励されるようになる（事務所から徒歩圏内での居住が求められるようになるなど）」といったことが起こるかもしれません。

このように、私たちの働き方は、職場、会社全体の動きのみならず、業界全体の動きや、国の経済状態からも影響を受けます。そして経済とは直接関係のないような、たとえば少子高齢化などの国全体の傾向や、法律面の規制などにも大きな影響を受けます。さらには、グローバル化の著しい現在では、外国での出来事などもかかわってくるかもしれません。いろんな想像を膨らませて考えてみるのが重要です。

それでは実際に、考えてみましょう。

こちらから提示する事例に目を通して、このような環境変化が起こったら「私の働き方にはこんな影響があるのでは」「私の仕事、損保グループ産業にはこんな影響があるのでは」と思いつくものを、例も参考に1つでも、2つでも書き出してみましょう。多少「強引かな？」と思うアイデアでも構いません。

なお、働き方との関係が思いつかない人は、まず「損保グループ産業や自分の会社との関係」を考えて、それが自分の働き方にどのような関係があるかを考えてみましょう。

④ <グループ>考えたものを共有する

いかがでしょうか。それでは、一人ひとりが考えた「環境変化が自分の働き方にどのような関係がありそうか」をグループのなかで順番に共有しましょう。

⑤ <まとめ>

いかがでしたか。

グループの中でもいろいろな意見が出たと思いますが、決まった答えがあるわけではありません。大切なことは、こうしたことを考えるのを習慣化することです。週末に新聞を落ち着いて読んでいるとき、ビジネス誌を読んだときなどに、同じようなことを考えてみましょう。これを繰り返していくことで、そのうちに、環境変化と自分の働き方との関係について、自然と考えられるようになっていくと思います。

そして、冒頭にもお話ししたように、「めざす働き方」と「実現のための行動」は、今回一度考えたら終わり、ではありません。環境は常に変化していくため、今後このように環境変化を捉えた場合には、「めざす働き方」と「実現に向けた行動」を再度考えてみましょう。

では、これで本日の職場会を終了します。ご協力ありがとうございました。